

# できる・できる・できる

## 命を見つめる週間を終え 一学期を閉じる

最終日は絆行事  
合唱編  
市民会館  
文化ホール  
で開催！



今年も命の有限性を理解し、自他の命を輝かせて生きることを改めて見つめ直す「梅中っ子の心(命)」を見つめる教育週間」を実施

しました。本校では、長崎市で二十一年前の七月一日に起きた男児誘拐殺人事件の日を、「命を見つめる日」と位置づけ、この日から一週間を心(命)を見つめる週間としています。

初日の七月一日は、校長による命の講話、命の授業の参観と学級 PTA による意見交換会。四日は情報モラル教材『SNS ノートながさき』を活用し、SNS やネットとの付き合い方を学ぶ授業の参観。五日は、PTA 生活部役員による挨拶運動。六日の土曜日は、土曜授業を開催し、生徒会主催による「地域クリーン作戦」を実施しました。

そして、最終日は今年度に行事名を合唱コンクールから「絆行事合唱編」に変え、会場も本校体育館から市民会館文化ホールに移しての開催となった絆行

事。まさに命の輝きを発し、観客を魅了した合唱でした。金賞受賞クラスは次の三クラスとなりました。

(金賞受賞)

三年一組  
二年二組  
一年二組

## 生徒会長の 公約果たす 地域クリーン作戦



週間六日目に実施した「地域クリーン作戦」は令和六年の生徒会長、平康生さんが立候補時の演説で筆

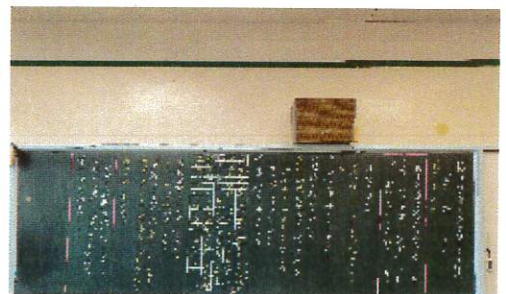
頭に掲げたものです。「地域の役に立つ梅中生徒会を目指したい。そのために地域清掃を積極的に行いたい。」という公約でした。

実現のサポートをしたいと思い、この春に今年の心(命)の週間の土曜授業に位置づけることを決め、企画を生徒会役員にお願いしました。実施当日は、保護者の皆さんも駆けつけられ、生徒と一緒に地域清掃を行っていただきました。

また、清掃中に地域住民の皆さんや観光客の方からたくさんのお声掛けをいただき、生徒会長が目指した目的は達成できたようです。拾ってきたゴミを収集した後の解散式で「できた・できた・できた」コールが響き渡りました。

## 今年も校長が行う 早朝補習「梅中道場」 始めました！

絆行事合唱編の翌日、七月九日から今年度の梅中道場を開始しました。校長が行う梅中道場は、朝の七時三十五分から行う早朝補習。国語の受験対策学習を中心に、小論文やプレゼンテーション対策、面接対策を含めた学習会です。



今年度の道場参加者は三年生の五十六名。一教室では入りきれないために二クラス編制を行い、合組が火曜日と木曜日、格組が水曜日と金曜日の各クラス週二回の道場を開いています。

目的は第一志望高校合格率一〇〇%の実現。このことを成し遂げた先輩に続けとばかりにたくさんの生徒が入部を希望してくれました。生徒からの道場実施の願い、保護者からの願いを受けて今年度も実施に踏み切った梅中道場。期待に応え、指導責任と結果責任を果たすプレッシャーはありますが、教材研究に力を入れますが、充実した道場の展開に努めていこうと思います。自分で入部を決めた生徒のやる気に力をもたらします。

## 一学期末校訓追求評価 年度末の達成率八〇% を目指す

今年度の校訓に沿った目指す生徒像の十八項目を職員と生徒で定め、生徒像に近づくための取組を進めています。一学期末の校訓追求評価(職員評価)の主な結果です。

※評価は四段階評価

【自主】…二・八

自分の役割を果たす生徒

…三・一

自分事として捉え動く

…二・六

自分を律する生徒

…二・六

自信をもって動く生徒

…二・六

【協同】…二・九

あいさつができる生徒

…二・六

集団の絆を大切にできる

…三・二

【創造】…二・八

地域や母校を大切に

…三・六

新たなアイデアを創出

…二・二

見通しをもって行動する

…二・五

良さを伸ばし、二・六以下の項目を三・二以上に改善できるようにします。